

保健だより 11月



12日 薬物乱用防止教室

19日 性に関する指導講話

を実施しました

★★薬物乱用防止教室★★

講師にドラッグストアモリ薬剤師の井上景虎先生をお迎えして、薬物の害の知識や、薬物依存がいかに恐ろしいかなどをお話いただきました。生徒たちは正しい判断力や行動力、断ることの重要性など、理解しようと真剣に聞いていました。

アルコール関連問題啓発週間

毎年この時期（令和3年は11月10日～11月16日まで）は厚生労働省が定めるアルコール健康障害対策基本法の知識普及のために「アルコール関連問題啓発週間」と定められています。年末年始に飲酒の機会が増えるためか、飲酒防止教育の実施など様々な啓発運動がなされています。飲酒や喫煙といった身近にあることをきっかけに薬物乱用の罠にはまることも十分考えられます。「たかが酒」などと油断は禁物です。



★★性に関する指導講話★★

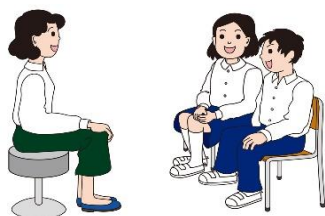
講師に日本心理学会 認定心理士の丸林直美先生をお迎えしてお話ししていただきました。「性に関する講話」なのになぜ心理学？と思われるかもしれませんが、「性」は「生」、つまり「生きること」ととらえ、人として互いに心地よいコミュニケーションについて学ぶ機会を設け、心身共に健やかで豊かな人間関係を構築できるよう企画しました。講話では「自分はどのタイプにどれくらい当てはまるか」など、自分を客観的に理解することができているようでした。なかなか好評で「この続きが聞きたかった」「もっと詳しく知りたい」などの意見が出ていました。



保健室利用率 冬は相談件数が増加

12月初旬にある「学校保健委員会」に向けて、資料作成のため来室状況を集計していたところ、10月に入ってから内科や外科の利用とともに、心の関する相談が増えていました。気温が下がり、空模様が曇るように、心もどんよりするのでしょうか…。

相談による来室が増える冬場ですが、講話を参考に少しでも心が軽くなると思いますね。



心理士の丸林先生がお話しされた「人格適応論」。カウンセリングの現場で患者さんとのコミュニケーションをよりよくするために使われている論理で、6つのタイプによりそれぞれ身近な人を思い描いているようでした。互いを理解するきっかけになったと思います。

